

発議第11号

「匿名・流動型犯罪グループ」による闇バイト強盗事件等の根絶
を求める意見書の提出について

浦安市議会会議規則第14条の規定により、上記の議案を別紙のとおり提出する。

令和6年12月19日

浦安市議会議長 小林章宏 様

提出者

浦安市議会議員

柳 毅一郎

賛成者

浦安市議会議員

広瀬 明子

〃

吉村 啓治

〃

末益 隆志

〃

岡本 善徳

〃

川野辺 則章

〃

美勢 麻里

〃

水野 実

〃

中村 理香子

〃

上野 賢一

浦安市議会議員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

橋爪雄輔

一瀬健二

深津徳則

宝新

毎田潤子

西川嘉純

工藤由紀子

斉藤哲

広田尚大

田村李瑠

「匿名・流動型犯罪グループ」による闇バイト強盗事件等の根絶
を求める意見書

昨今、目先の利益を手に入れるため「闇バイト」に安易に応募した青少年が、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまうことが大きな問題となっている。その闇バイトに端を発した強盗事件が首都圏を中心に今年8月以降、19件発生。いずれも夜間在宅中に窓ガラスを割るなどし、複数人で押し入り、家人を拘束・暴行するなどして金品を強奪。横浜市では75歳の男性が殺害され、市川市では押し入った後、50歳の女性に対し暴行、拘束して連れ去り監禁するという、いずれも常軌を逸した極めて卑劣な犯行となっている。その多くがSNSのバイト募集で集められ指示役の命令に従って実行したとされている。在宅時でも押し入ってくるため防犯対策も容易ではない。これら一連の事件は治安を揺るがす重大な脅威であり、国および県においては、以下の通り、闇バイトによる犯罪被害から国民、県民を守るための対策を強化するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

- 匿名・流動型犯罪グループによる強盗や特殊詐欺等の早期の実態解明と摘発および治安維持を図ること
- 少年たちがこのような犯罪へ加担することを防止するため、実態把握や危険性、悪質性についてのさらなる情報発信および保護に努めること

令和6年12月 日

浦安市議会議長 小林章宏

あて 内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様
国家公安委員長 様
法務大臣 様
千葉県知事 様